



IXIL リプラス 汎用カバーモール浴室用 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- モール脱落の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品は木造用ですので、木造以外の躯体には使用しないでください。
 - ・モール取付けは指定のねじで取付けしてください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ (25±5kgf・cm)のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定個所へは、必ずシーリング材(有償品)を充てんしてください。
 - ・排水経路を確保するため、下部端部キャップにはプッシュボタンを取付けないでください。
 - ・排水経路を確保するため、下部端部キャップの下側、および、下モールの下側は、シーリングをしないでください。
 - ・シーリング材は、1成分形変成シリコンを使用してください。
 - ・シーリング材専用のプライマーを使用してください。
 - ・シーリング処理は防水テープとつながるようにしてください。
 - ・防水テープは必ずアルミ箔付防水テープ(有償品)を使用してください。
 - ・アルミ箔付防水テープを指定個所に張付け、躯体内へ水が流れないようにしてください。
 - ・アルミ箔付防水テープの張付け部の幅が50mmより大きい場合は重ねてつぎ足してください。
 - ・躯体に下穴をあけた場合は、必ず下穴へシール材を充てんしてから、取付けねじを取付けてください。
 - ・引違いサッシの躯体取付けねじには、浴室用防水部品セットに同梱のコーキングワッシャーを使用してください。
 - ・サーモスII-H/L 引違いサッシの場合、外障子戸当り側縦枠の躯体取付けねじには、浴室用防水部品セットに同梱されているコーキングワッシャーは使用しないでください。必ず下穴をあけ、ねじ止めした際に、シーリング材がはみ出るくらい充てんし、ねじ締め付け後、はみ出したシーリング材を拭き取ってください。
 - ・シーリング処理は、サッシ取付けねじ頭がかくれるまで行ってください。上下枠と縦枠の取り合い部は、枠シーラーの根元まで行ってください。
- アルミ箔付防水テープ張付けの際には、必ず手袋の着用をしてください。アルミ箔付防水テープには鋭利な部分があるため、ケガをするおそれがあります。
- タイル面へ下穴をあける際は、必ず磁器タイル用ドリルを使用してください。タイルが割れるおそれがあります。

■取付け上へのお願い

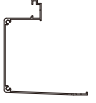
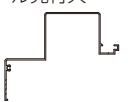
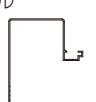



- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- モールの連結部に無理な力をかけないでください。モールが変形するおそれがあります。
- 取付け説明書および取付け部品セット・取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
- サッシ本体の取付け、ガラスの入れ方などは、各製品の取付け説明書をご覧ください。
- モール取付けの際には、モール形材が変形しないようにねじ締めしてください。


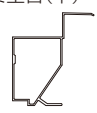






■リプラス 汎用カバーモール浴室用 商品体系

- 商品によって、部材・部品、取付け方法が異なります。
- 下記商品体系表より、該当商品のカバーモール、アルミ土台の型をご確認ください。




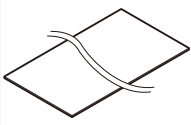
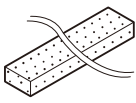
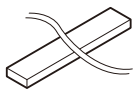

交換種別	納まり	開口	カバーモール浴室用					アルミ土台				
			浴室用A型	浴室用B型	浴室用C型	浴室用D型	浴室用E型	土台A型	土台B型	土台C型	土台D型	
システムバス 同時交換	タイル⇒SB 交換	標準納まり	全面開口	●					●			
		片寄せ開口		●					●			
	入隅納まり	全面開口			●	●				●		
		片寄せ開口					●			●		
SB⇒SB 交換						●			●			
										●		
窓単独交換	標準納まり										●	
	入隅納まり										●	






■部材・部品一覧

カバーモール浴室用	浴室用 A型	浴室用 B型	浴室用 C型	浴室用 D型	浴室用 E型
横モール 	2本	2本	2本	2本	2本
縦モール見付大 	2本	1本	1本	—	—
縦モール 	—	1本	—	2本	1本
縦モール(入隅用) 	—	—	1本	—	1本
モール材ねじカバー(上下) 	2本	2本	2本	2本	2本
モール材ねじカバー(縦) 	2本	2本	1本	2本	1本

アルミ土台	土台A型	土台B型	土台C型	土台D型
アルミ土台カバーA(上) 	1本	1本	1本	—
アルミ土台(下) 	1本	1本	1本	—
アルミ土台カバーA(縦) 	2本	2本	2本	—
アルミ土台ベースA(縦) 	2本	1本	—	—
アルミ土台カバーB(上下) 	—	—	—	2本
アルミ土台ベースB(上下) 	1本	1本	1本	2本
アルミ土台カバーB(縦) 	—	—	—	2本
アルミ土台ベースB(縦) 	—	1本	2本	2本

■同梱部品内容一覧

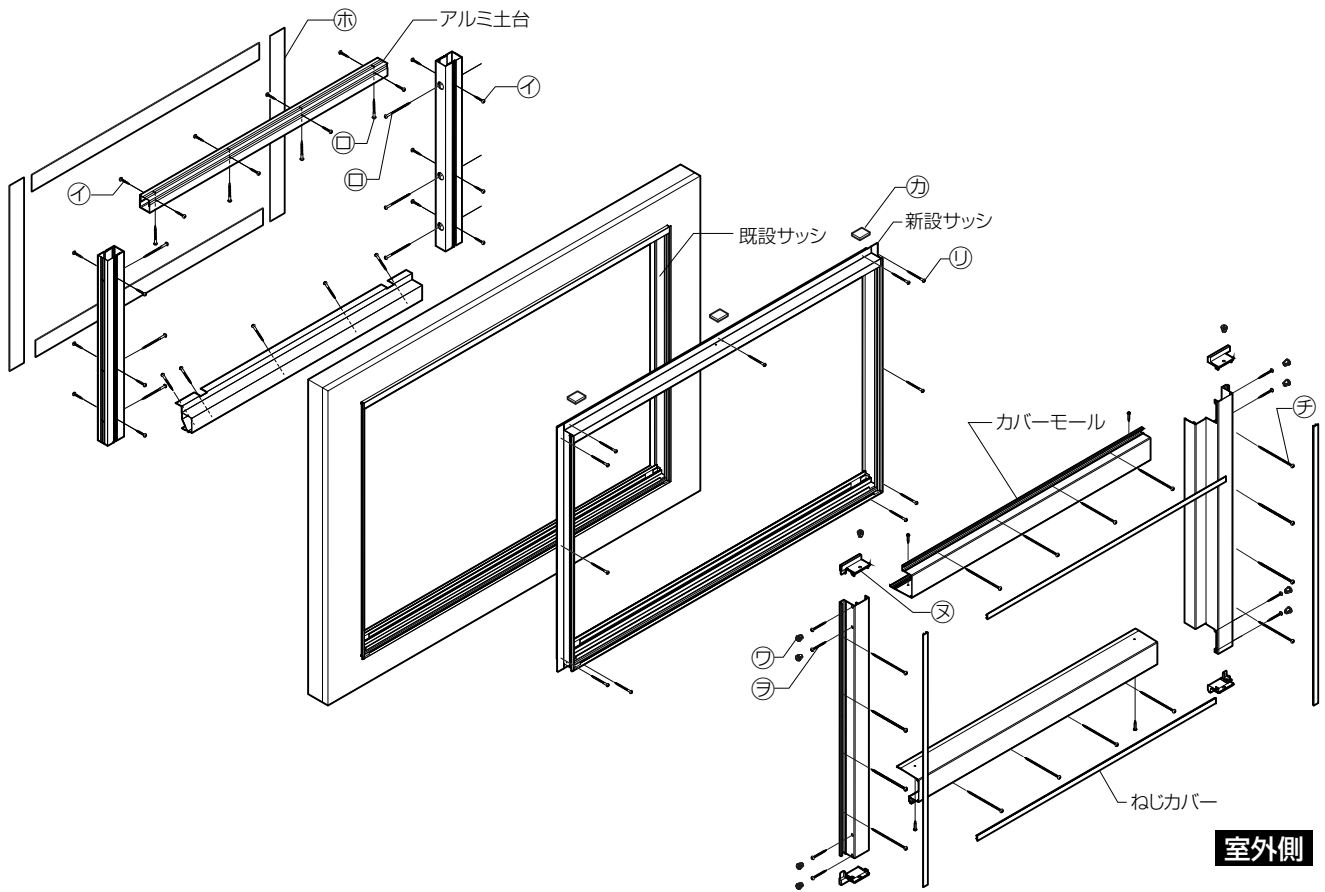
④皿ドリルねじ (アルミ土台組立て用) φ4×13 	⑩木ねじ (アルミ土台取付け用) φ4.1×50 	⑪セッティング ブロック 
12~36本	12~24本	3個
⑨木ねじ (アルミ土台取付け用) φ4.1×75 	⑫発泡ポリエチレン 	⑬止水材 
12~18本		
⑮スペーサー 	⑯モール取付けねじ ナベタッピンねじ (1種) φ5×90 	⑰サッシ取付けねじ (専用サッシに同梱) ※専用サッシ以外は、 別売品のねじをご 使用ください。
	16~22本	

カバーモール 組立て用部品セット	浴室用A型	浴室用B型	浴室用C型	浴室用D型	浴室用E型
⑧端部キャップ 	L: 2個 R: 2個	L: 2個 R: 2個	L: 1個 R: 1個	L: 2個 R: 2個	L: 1個 R: 1個
⑩端部キャップ (入隅用) 	—	—	L: 1個 R: 1個	—	L: 1個 R: 1個
⑭モール組立てねじ ナベタッピンねじ (2種) φ4×35(G5) 	12本	12本	10本	8本	8本
⑱押しボタン φ8用 	10個	10個	10個	10個	10個
⑲チリ出しブロック 	3個	3個	3個	3個	3個

■構成図

●汎用カバーモール浴室用

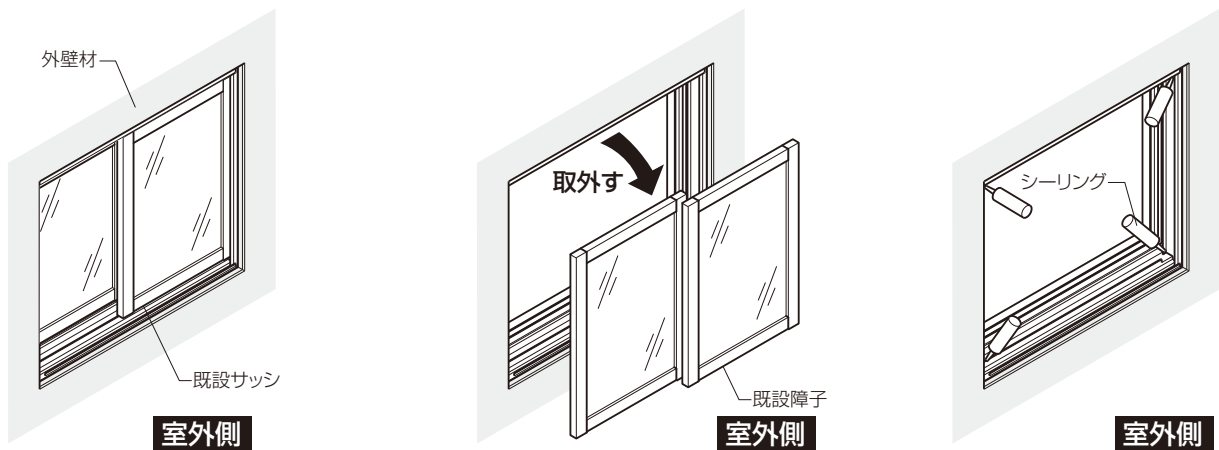
※図は、カバーモール浴室用A型、アルミ土台A型を示します。



■取付け順序

1 既設サッシの準備

- ①既設サッシの障子を外します。
 - ②既設サッシに付いている部品(上・下枠ストッパー、結露受けなど)を取外します。
 - ③サッシのコーキングシーラーが劣化しているおそれがあるため、サッシのコーナー部にシーリング処理してください。
- ※面格子付サッシは、格子を外してカバーモールドを当て、モールに干渉する部分を全長切断してください。



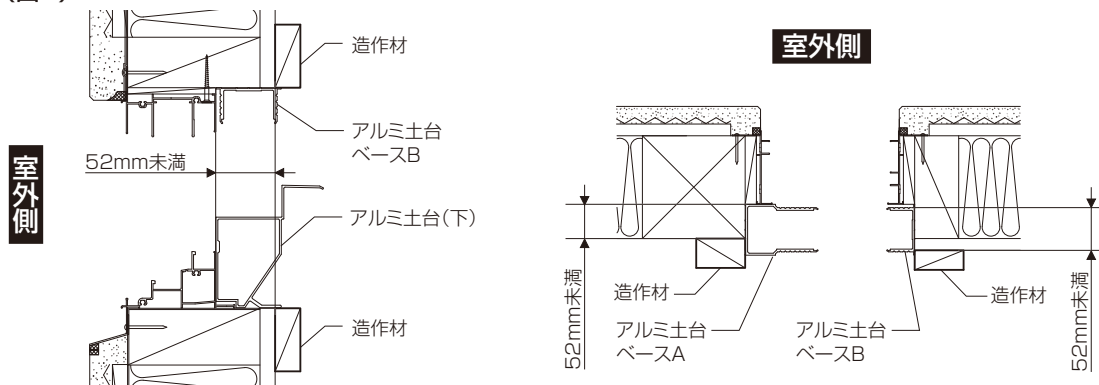
2 開口の準備

① アルミ土台の組立て、取付け

●新設サッシを取付けるためのアルミ土台を取付けてください。

※既設サッシが内付枠の場合は、アルミ土台が躯体にのるか確認してください。躯体残りが52mm未満の場合は、造作材等で造作してください。(図1)

(図1)



※取付けねじはアルミ土台の取付け穴位置に合わせて取付けてください。

※取付け後、アルミ土台にガタツキやぐらつきがないことを確認してください。

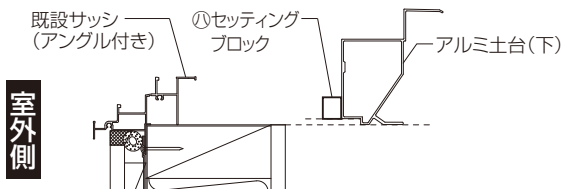
■ セッティングブロックの張付け(既設サッシがアングル付きの場合)

※既設サッシがアングル付きの場合は、アルミ土台取付け時のこぼりを防止するため、アルミ土台(下)に①セッティングブロックを張付けてください。(図2)

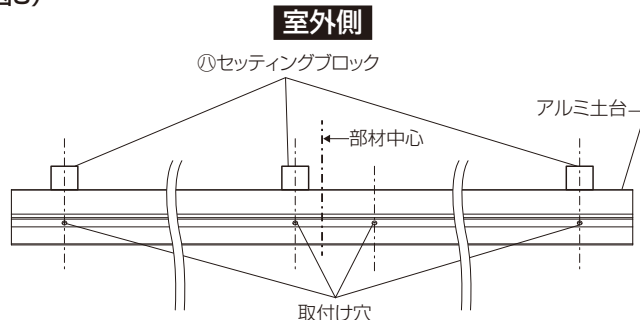
※①セッティングブロックは、アルミ土台(下)の取付け穴位置に合わせて、両端と中央にそれぞれ3つずつ張付けてください。

※中央は、部材中心から見て、取付け穴に近い方に張付けてください。(図3)

(図2)



(図3)

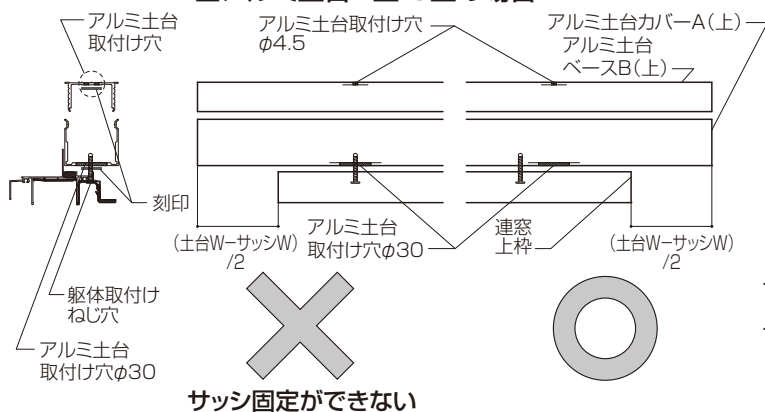


■ アルミ土台(上)を組立てる前の確認

※新設サッシが引違い連窓の場合は、アルミ土台カバーA(上)と連窓した上枠を下図の様に左右を合わせて、引違い上枠の躯体取付けねじ穴とアルミ土台取付け穴φ30が重なっていないか確認してください。重なっている場合は、土台を反転して重ならないか確認してください。それでも重なっている場合は、重ならない位置にアルミ土台取付け穴φ30、アルミ土台ベースB(上)のアルミ土台取付け穴φ4.5をあけなおしてください。見込方向は元の穴位置を参考にしてください。

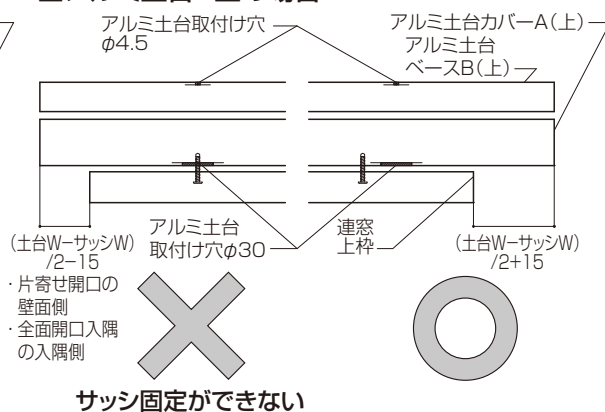
※アルミ土台カバーA、アルミ土台ベースBには左右を示す「左」刻印があります。「左」が室内側から見て左側になります。

■ アルミ土台A型・C型の場合



サッシ固定ができない

■ アルミ土台B型の場合



サッシ固定ができない

■土台A型の場合

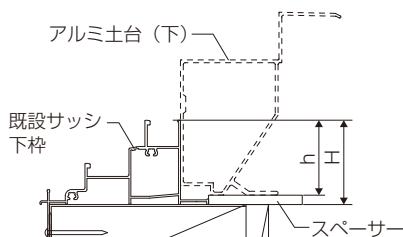
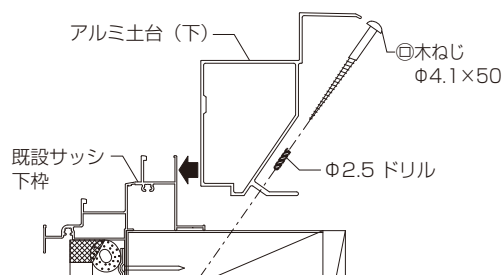
①アルミ土台(下)の取付け

アルミ土台(下)を既設サッシ下枠に当て、既設サッシ縦枠とのチリを左右均等にして躯体にφ2.5の下穴をあけ、㊸木ねじ φ4.1×50で取付けてください。

※新設サッシ取付け時の水平・垂直を出すため、取付け時に左右、内外の水平を確認してください。水平が出ていない場合は、スペーサーなどで調整してください。

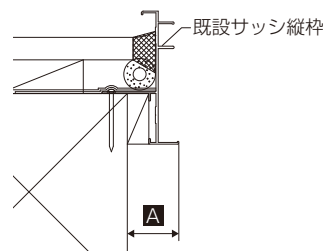
※既設サッシがアングル付きの場合は、アルミ土台(下)に㊹セッティングブロックを張付けてください。(「■セッティングブロックの張付け」参照)

※図中H寸法(躯体から既設サッシ下枠上端部)が40mm以上の場合は、スペーサーを使用して、h寸法(アルミ土台(下)下端部から既設サッシ下枠上端部)が40mmになるように調整してください。



②アルミ土台ベースAの取付け準備(※左右両側)

アルミ土台ベースAを取付ける前にA寸法を測ってください。

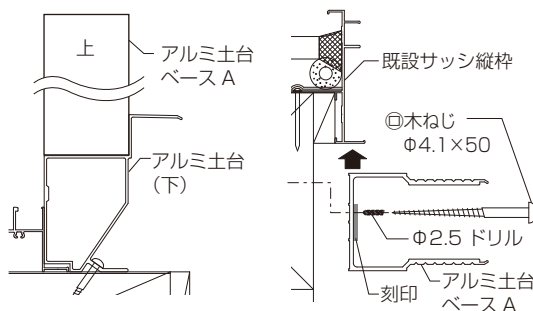


③アルミ土台ベースAの取付け(※左右両側)

アルミ土台ベースAをアルミ土台(下)と既設サッシ縦枠に当てながら、室外側の取付け穴位置にφ2.5の下穴をあけ、㊸木ねじ φ4.1×50で取付けてください。

※新設サッシ取付け時の垂直を出すため、取付け時に見込方向の垂直を確認してください。

※アルミ土台ベースAには上下を示す「上」刻印があります。刻印を確認して「上」が上になるように取付けてください。



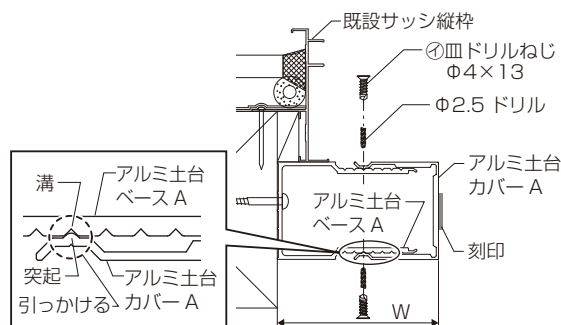
④アルミ土台カバーAの取付け(左右両側)

アルミ土台カバーAをアルミ土台ベースAにはめ合わせ、A寸法から算出した必要幅(W)に合わせてφ2.5の下穴をあけ、㊹皿ドリルねじ φ4×13で取付けてください。

※必要幅(W)は下表で確認してください。

※アルミ土台ベースAには5mm刻みで溝があり、アルミ土台カバーAには突起がありますので、引っかけてから下穴をあけてください。その際、室内外で同じ位置であることを確認してください。

※アルミ土台カバーAには上下を示す「上」刻印があります。刻印を確認して「上」が上になるように取付けてください。

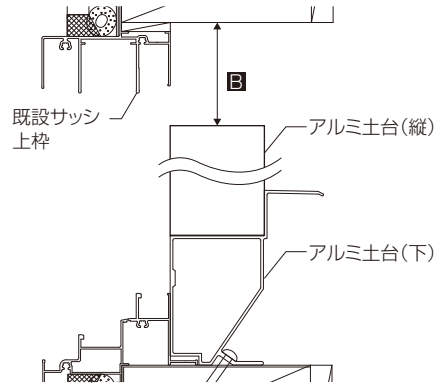


必要幅(W)

㊸+62.5 (新設サッシ: サーモスII・サーモスX・サーモスL)	78.5~83	83.5~88	88.5~93	93.5~98	98.5~103	103.5~108	108.5~
㊸+77.5 (新設サッシ: シンフォニー・デュオPG)							
必要幅(W)	76	81	86	91	96	101	106

⑤アルミ土台(上)の組立て準備

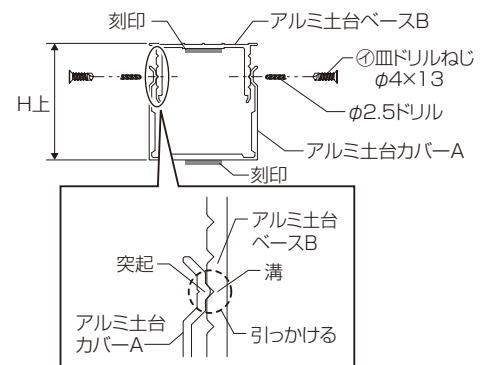
アルミ土台(上)を組立てる前に左右の**B**寸法を測ってください。
 ※左右でB寸法が異なる場合は、最小値をB寸法としてください。



⑥アルミ土台(上)の組立て

アルミ土台ベースBにアルミ土台カバーAをはめ合わせ、**B**寸法から算出した必要高さ(H上)に合わせてφ2.5の下穴をあけ、①皿ドリルねじ φ4×13で組立ててください。

- ※必要高さ(H上)は下表で確認してください。
- ※アルミ土台ベースBには5mm刻みで溝があり、アルミ土台カバーAには突起がありますので、引っかけてから下穴をあけてください。その際、室内側で同じ位置であることを確認してください。
- ※アルミ土台ベースB、アルミ土台カバーAには左右を示す「左」刻印があります。刻印側を合わせて組立ててください。



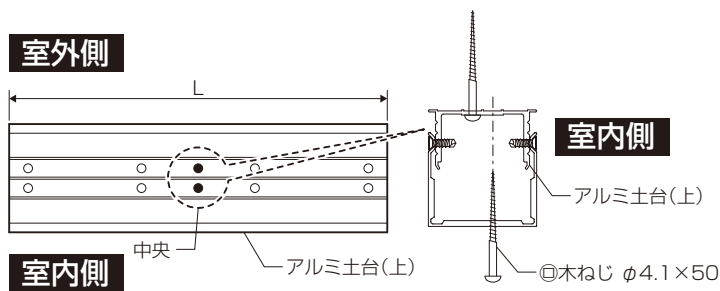
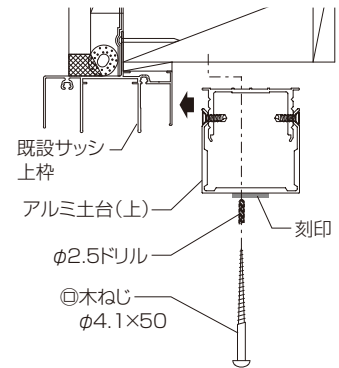
必要高さ(H上)

B	47~53	53.5~58	58.5~63	63.5~
必要高さ(H上)	46	51	56	61

⑦アルミ土台(上)の取付け

⑥で組立てたアルミ土台(上)を既設サッシ上枠に当て、既設サッシ縦枠とのチリを左右均等にして、室外側の取付け穴位置にφ2.5の下穴をあけ、②木ねじ φ4.1×50で取付けてください。

- ※刻印を確認して「左」が室内側から見て左側になるように取付けてください。
- ※Lが1700以上の場合は、中央の室内側も②木ねじ φ4.1×50でねじ止めてください。



⑧P12[2]アルミ土台のすき間調整へ進んでください。

■土台B型の場合

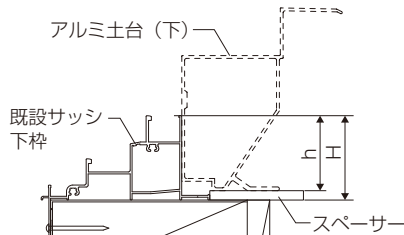
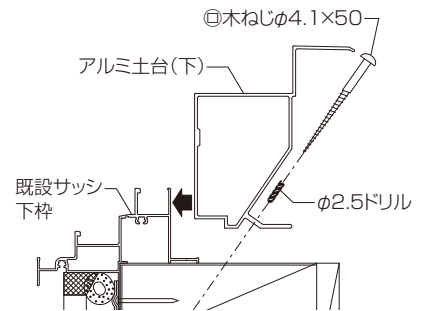
①アルミ土台(下)の取付け

アルミ土台(下)を既設サッシ下枠に当て、既設サッシ縦枠とのチリを左右均等に
して躯体にφ2.5の下穴をあけ、◎木ねじφ4.1×50で取付けてください。

※新設サッシ取付け時の水平・垂直を出すため、取付け時に左右、内外の水平を確認
してください。水平が出ていない場合は、スペーサーなどで調整してください。

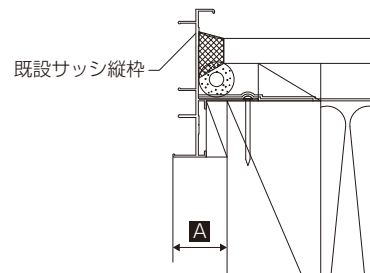
※既設サッシがアングル付きの場合は、アルミ土台(下)に㊦セッティングブロッ
クを張付けてください。(「P4 ■セッティングブロックの張付け」参照)

※図中H寸法(躯体から既設サッシ下枠上端部)が40mm以上の場合は、スペー
サーを使用して、h寸法(アルミ土台(下)下端部から既設サッシ下枠上端部)が
40mmになるように調整してください。



②アルミ土台(縦)の組立て準備(※壁面側)

アルミ土台(縦)を組立てる前に**A**寸法を測ってください。



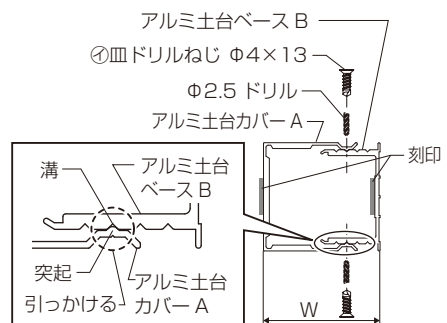
③アルミ土台(縦)の組立て(※壁面側)

アルミ土台ベースBにアルミ土台カバーAにはめ合わせ、**A**寸法から
算出した必要幅(W)に合わせてφ2.5の下穴をあけ、㊦皿ドリルねじ
φ4×13で組立ててください。

※必要幅(W)は下表で確認してください。

※アルミ土台ベースBには5mm刻みで溝があり、アルミ土台カバー
Aには突起がありますので、引っかけってから下穴をあけてくださ
い。その際、室内外で同じ位置であることを確認してください。

※アルミ土台ベースB、アルミ土台カバーAには上下を示す「上」刻印
があります。刻印側を合わせて組立ててください。



必要幅(W)

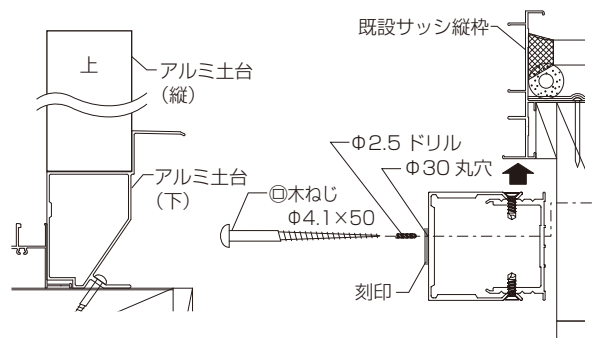
A +32.5 (新設サッシ: サーマスII・サーモ スX・サーモSL・シンフォニー・デュオPG)	48.5~53	53.5~58	58.5~63	63.5~
必要幅(W)	46	51	56	61

④アルミ土台(縦)の取付け(※壁面側)

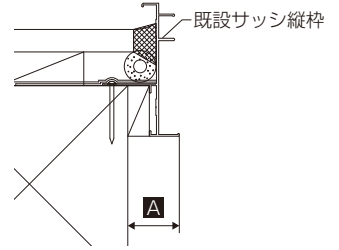
③で組立てたアルミ土台(縦)を、アルミ土台(下)と既設サッシ縦枠
に当てながら、室外側の取付け穴位置にφ2.5の下穴をあけ◎木ねじ
φ4.1×50で取付けてください。

※新設サッシ取付け時の垂直を出すため、取付け時に見込方向の垂直を
確認してください。

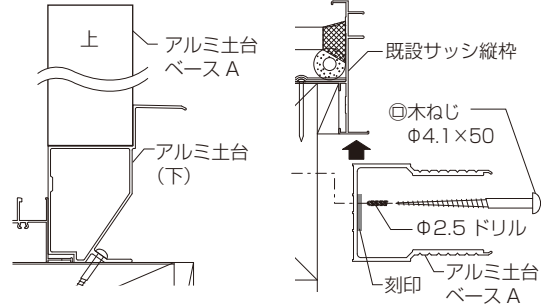
※刻印を確認して「上」が上になるように取付けてください。



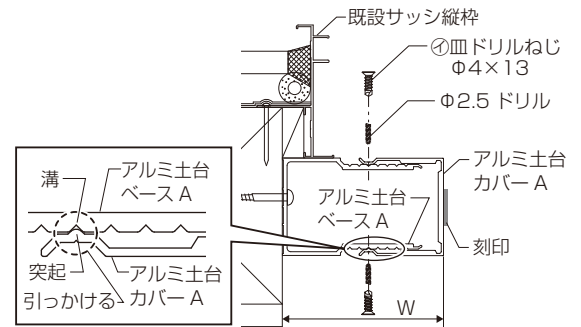
- ⑤アルミ土台ベースAの取付け準備(※片寄せ側)
アルミ土台ベースAを取付ける前に**A**寸法を測ってください。



- ⑥アルミ土台ベースAの取付け(※片寄せ側)
アルミ土台ベースAをアルミ土台(下)と既設サッシ縦枠に当てながら、室外側の取付け穴位置にφ2.5の下穴をあけ、㊸木ねじ φ4.1×50で取付けてください。
※新設サッシ取付け時の水平・垂直を出すため、取付け時に見込方向の垂直を確認してください。
※アルミ土台ベースAには上下を示す「上」刻印があります。刻印を確認して「上」が上になるように取付けてください。



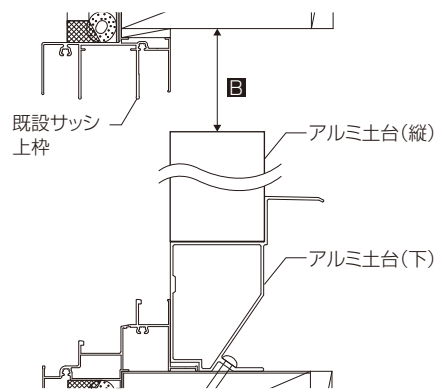
- ⑦アルミ土台カバーAの取付け(※片寄せ側)
アルミ土台カバーAをアルミ土台ベースAにはめ合わせ、**A**寸法から算出した必要幅(W)に合わせてφ2.5の下穴をあけ、㊹皿ドリルねじ φ4×13で取付けてください。
※必要幅(W)は下表で確認してください。
※アルミ土台ベースAには5mm刻みで溝があり、アルミ土台カバーAには突起がありますので、引っかけてから下穴をあけてください。その際、室内外で同じ位置であることを確認してください。
※アルミ土台カバーAには上下を示す「上」刻印があります。刻印を確認して「上」が上になるように取付けてください。



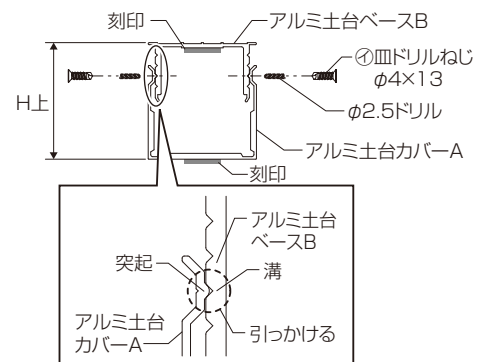
必要幅(W)

A +62.5 (新設サッシ: サーマスⅡ・サーモスX・サーモスL)	78.5~83	83.5~88	88.5~93	93.5~98	98.5~103	103.5~108	108.5~
A +77.5 (新設サッシ: シンフォニー・デュオPG)							
必要幅(W)	76	81	86	91	96	101	106

- ⑧アルミ土台(上)の組立て準備
アルミ土台(上)を組立てる前に左右の**B**寸法を測ってください。
※左右でB寸法が異なる場合は、最小値をB寸法としてください。



- ⑨アルミ土台(上)の組立て
アルミ土台ベースBにアルミ土台カバーAをはめ合わせ、**B**寸法から算出した必要高さ(H上)に合わせてφ2.5の下穴をあけ、㊹皿ドリルねじ φ4×13で組立ててください。
※必要高さ(H上)は下表で確認してください。
※アルミ土台ベースBには5mm刻みで溝があり、アルミ土台カバーAには突起がありますので、引っかけてから下穴をあけてください。その際、室内側で同じ位置であることを確認してください。
※アルミ土台ベースB、アルミ土台カバーAには左右を示す「左」刻印があります。刻印側を合わせて組立ててください。



必要高さ(H上)

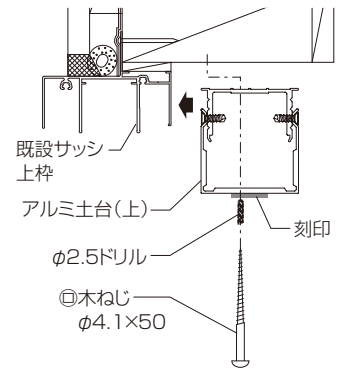
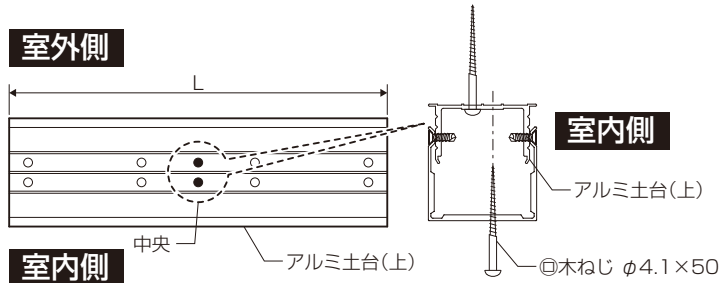
B	47~53	53.5~58	58.5~63	63.5~
必要高さ(H上)	46	51	56	61

⑩アルミ土台(上)の取付け

⑨で組立てたアルミ土台(上)を既設サッシ上枠に当て、既設サッシ縦枠とのチリを左右均等にして、室外側の取付け穴位置にφ2.5の下穴をあけ、◎木ねじφ4.1×50で取付けてください。

※刻印を確認して「左」が室内側から見て左側になるように取付けてください。

※Lが1700以上の場合は、中央の室内側も◎木ねじφ4.1×50でねじ止めてください。



⑪P12②アルミ土台のすき間調整へ進んでください。

■土台C型の場合

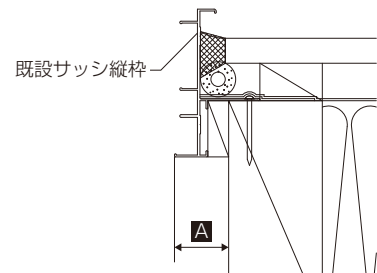
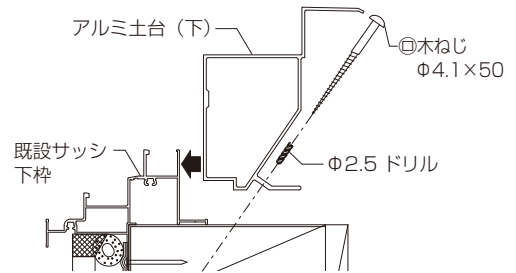
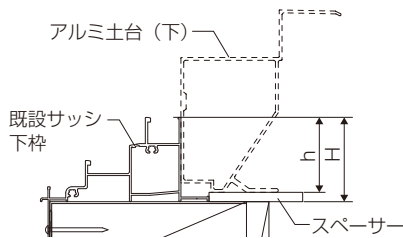
①アルミ土台(下)の取付け

アルミ土台(下)を既設サッシ下枠に当て、既設サッシ縦枠とのチリを左右均等にして躯体にφ2.5の下穴をあけ、◎木ねじφ4.1×50で取付けてください。

※新設サッシ取付け時の水平・垂直を出すため、取付け時に左右、内外の水平を確認してください。水平が出ていない場合は、スペーサーなどで調整してください。

※既設サッシがアングル付きの場合は、アルミ土台(下)に①セッティングブロックを張付けてください。(「P4 ■セッティングブロックの張付け」参照)

※図中H寸法(躯体から既設サッシ下枠上端部)が40mm以上の場合は、スペーサーを使用して、h寸法(アルミ土台(下)下端部から既設サッシ下枠上端部)が40mmになるように調整してください。



②アルミ土台(縦)の組立て準備(※左右両側)

アルミ土台(縦)を組立てる前にA寸法を測ってください。

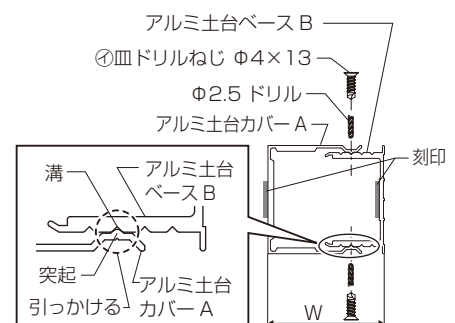
③アルミ土台(縦)の組立て(※左右両側)

アルミ土台ベースBにアルミ土台カバーAにはめ合わせ、A寸法から算出した必要幅(W)に合わせてφ2.5の下穴をあけ、⑦皿ドリルねじφ4×13で組立ててください。

※必要幅(W)は下表で確認してください。

※アルミ土台ベースBには5mm刻みで溝があり、アルミ土台カバーAには突起がありますので、引っかけてから下穴をあけてください。その際、室内外で同じ位置であることを確認してください。

※アルミ土台ベースB、アルミ土台カバーAには上下を示す「上」刻印があります。刻印側を合わせて組立ててください



必要幅(W)

A+32.5 (新設サッシ: サーモスII・サーモスX・サーモスL・シンフォニー・デュオPG)	48.5~53	53.5~58	58.5~63	63.5~
必要幅(W)	46	51	56	61

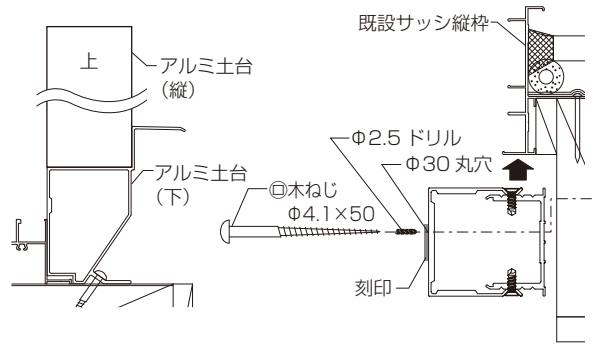
④アルミ土台(縦)の取付け(※左右両側)

③で組立てたアルミ土台(縦)を、アルミ土台(下)と既設サッシ縦枠に当てながら、室外側の取付け穴位置から躯体にφ2.5の下穴をあけ

◎木ねじ φ4.1×50で取付けてください。

※新設サッシ取付け時の垂直を出すため、取付け時に見込方向の垂直を確認してください。

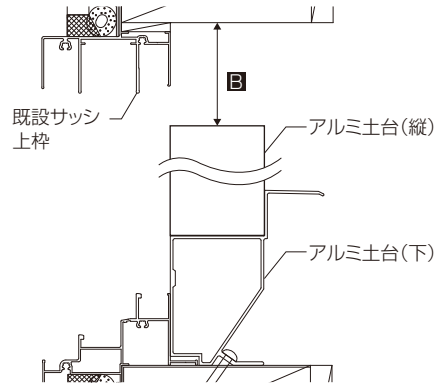
※刻印を確認して「上」が上になるように取付けてください。



⑤アルミ土台(上)の組立て準備

アルミ土台(上)を組立てる前に左右のB寸法を測ってください。

※左右でB寸法が異なる場合は、最小値をB寸法としてください。



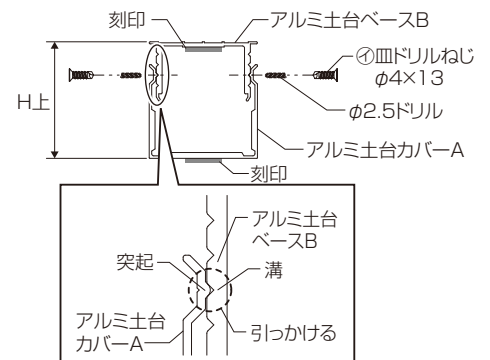
⑥アルミ土台(上)の組立て

アルミ土台ベースBにアルミ土台カバーAをはめ合わせ、B寸法から算出した必要高さ(H上)に合わせてφ2.5の下穴をあけ、①皿ドリルねじ φ4×13で組立ててください。

※必要高さ(H上)は下表で確認してください。

※アルミ土台ベースBには5mm刻みで溝があり、アルミ土台カバーAには突起がありますので、引っかけから下穴をあけてください。その際、室内側で同じ位置であることを確認してください。

※アルミ土台ベースB、アルミ土台カバーAには左右を示す「左」刻印があります。刻印側を合わせて組立ててください。



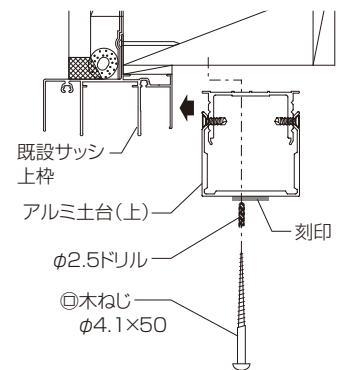
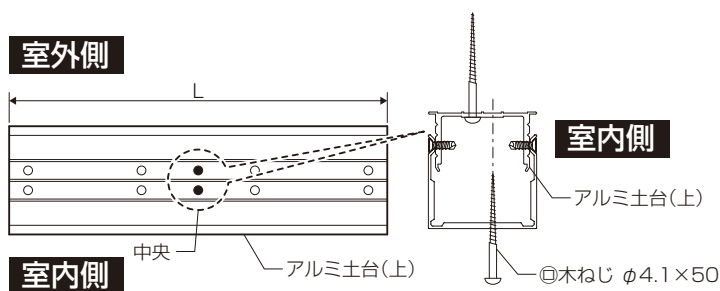
必要高さ(H上)

B	47~53	53.5~58	58.5~63	63.5~
必要高さ(H上)	46	51	56	61

⑦アルミ土台(上)の取付け

⑥で組立てたアルミ土台(上)を既設サッシ上枠に当て、既設サッシ縦枠とのチリを左右均等にして、室外側の取付け穴位置にφ2.5の下穴をあけ、◎木ねじ φ4.1×50で取付けてください。

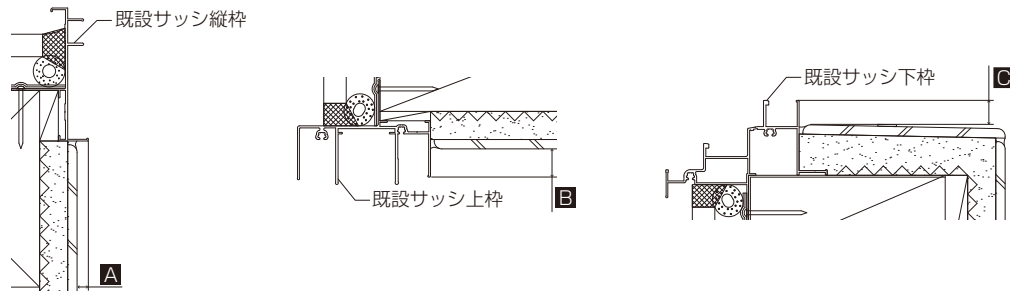
※Lが1700以上の場合は、中央の室内側も◎木ねじ φ4.1×50止めしてください。



⑧P12図アルミ土台のすき間調整へ進んでください。

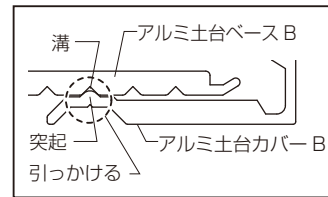
■土台D型の場合

- ①アルミ土台(縦)、アルミ土台(上)、アルミ土台(下)の組立て準備
アルミ土台(縦)、アルミ土台(上)、アルミ土台(下)を組立てる前に**A**・**B**・**C**寸法を測ってください。



- ②アルミ土台(縦)、アルミ土台(上)、アルミ土台(下)の組立て
アルミ土台ベースBにアルミ土台カバーBにはめ合わせ、**A**・**B**・**C**寸法から算出した、必要幅(W)・必要高さ(H上)・必要高さ(H下)に合わせてφ2.5の下穴をあけ、④皿ドリルねじ φ4×13で組立ててください。

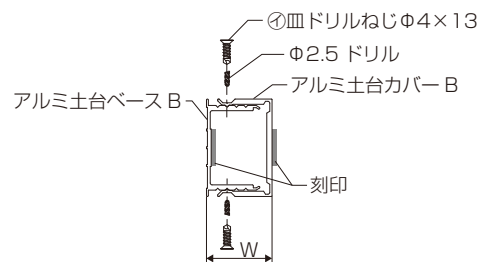
- ※必要幅(W)・必要高さ(H上)・必要高さ(H下)は下表で確認してください。
- ※アルミ土台ベースBには5mm刻みで溝があり、アルミ土台カバーBには突起がありますので、引っかけてから下穴をあけてください。その際、室内外で同じ位置であることを確認してください。
- ※アルミ土台ベースB、アルミ土台カバーBには、上下を示す「上」、左右を示す「左」刻印があります。刻印側を合わせて組立ててください。



●アルミ土台(縦)

必要幅(W)

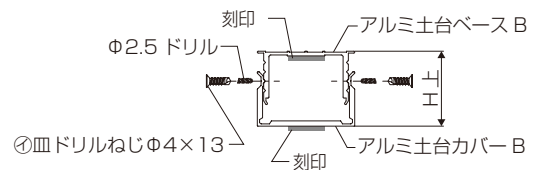
A +32.5 (新設サッシ：サーモスII・サーモスX・サーモスL・シンフォニー・デュオPG)	32.5~37	37.5~42	42.5~47	47.5~
必要幅(W)	30	35	40	45



●アルミ土台(上)

必要高さ(H上)

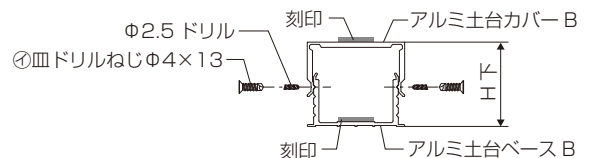
B +28 (新設サッシ：サーモスII・サーモスX・サーモスL・シンフォニー・デュオPG)	33~37.5	38~42.5	43~47.5	48~
必要高さ(H上)	30	35	40	45



●アルミ土台(下)

必要高さ(H下)

C +32 (新設サッシ：サーモスII・サーモスX・サーモスL・シンフォニー・デュオPG)	32~34.5	35~39.5	40~44.5	45~
必要高さ(H下)	30	35	40	45



▲ 注意

- タイル面へ下穴をあける際は、必ず磁器タイル用ドリルを使用してください。
タイルが割れるおそれがあります。
- 躯体到下穴をあけた場合は、必ず下穴へシーリング材を充てんしてから、取付けねじを取付けてください。
漏水の原因になるおそれがあります。

③アルミ土台(下)の取付け

②で組立てたアルミ土台(下)を既設サッシ下枠に当て、既設タイルとのチリを左右均等にして、室外側の取付け穴位置にφ5(タイル)、φ2.5(躯体)の下穴をあけ、シーリング材を充てんしてください。

既設サッシ下枠上面からアルミ土台(下)上面までが32mmになるように、スペーサーで調整してください。

◎木ねじ φ4.1×75で取付けて、ねじ頭にシーリングしてください。

※新設サッシ取付け時の水平・垂直を出すため、取付け時に左右、内外の水平を確認してください。

※刻印を確認して「左」が室内側から見て左側になるように取付けてください。

お願い

※タイル面に水勾配がついている場合は、アルミ土台(下)が水平になるようにスペーサー等で調整してください。

④アルミ土台(縦)の取付け

②で組立てたアルミ土台(縦)を、アルミ土台(下)と既設タイルに当てながら、室外側の取付け穴位置にφ5(タイル)、φ2.5(躯体)の下穴をあけ、シーリング材を充てんしてください。

◎木ねじ φ4.1×75で取付けて、ねじ頭にシーリングしてください。

※新設サッシ取付け時の垂直を出すため、取付け時に見込方向の垂直を確認してください。

※刻印を確認して「上」が上になるように取付けてください。

⑤アルミ土台(上)の取付け

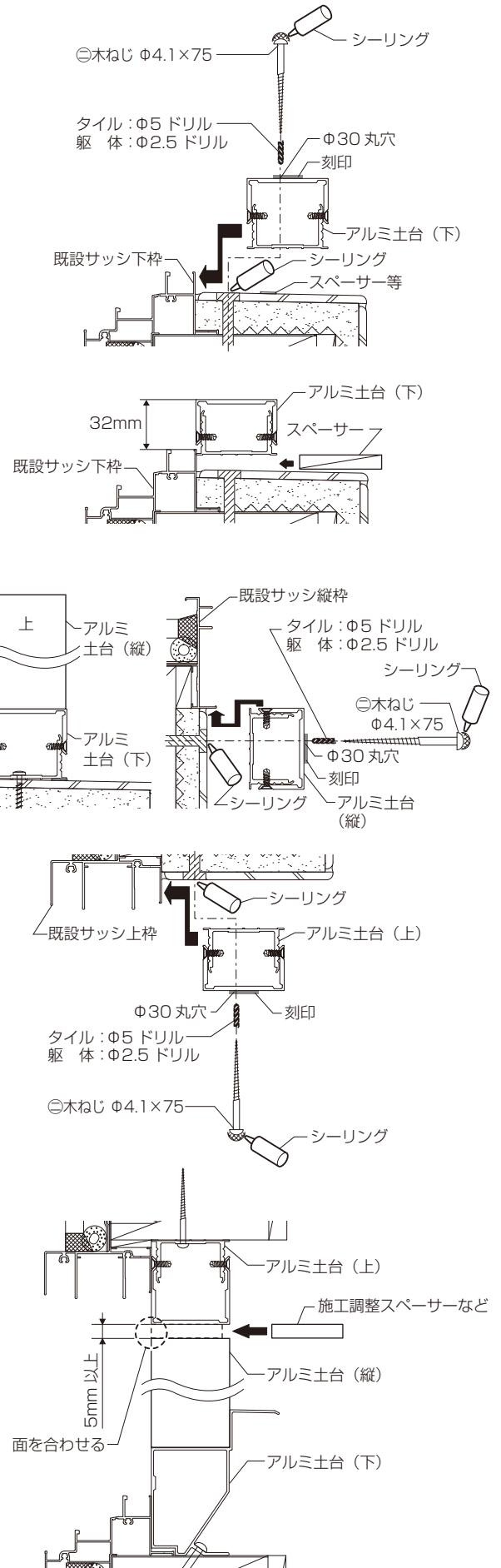
②で組立てたアルミ土台(上)を既設サッシ上枠に当て、既設タイルとのチリを左右均等にして、室外側の取付け穴位置にφ5(タイル)、φ2.5(躯体)の下穴をあけ、シーリング材を充てんしてください。

◎木ねじ φ4.1×75で取付けて、ねじ頭にシーリングしてください。

※刻印を確認して「左」が室内側から見て左側になるように取付けてください。

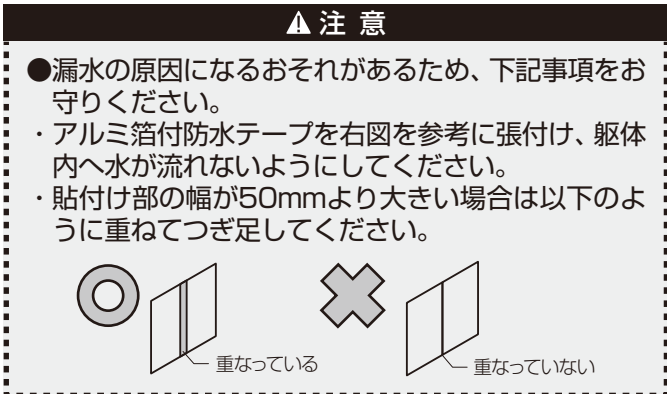
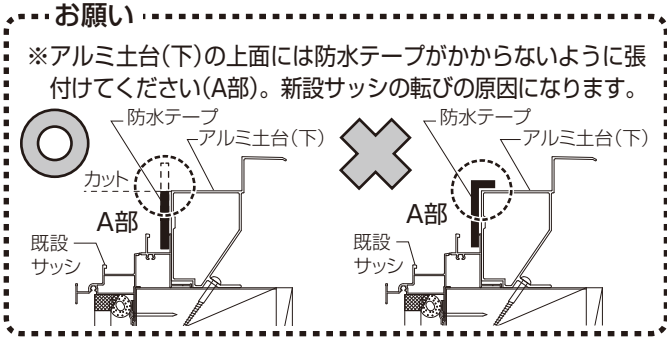
②アルミ土台のすき間調整

※アルミ土台(縦)とアルミ土台(上)の間に、5mm以上のすき間がある場合は、アルミ箔付防水テープを貼る際の平面を出すため、施工調整スペーサー(有償品)などですき間を埋めてください。



③アルミ箔付防水テープの張付け

- 開口部周りの防水処理をしてください。
 - アルミ土台と既設サッシのつなぎ目に室外側からアルミ箔付防水テープ(有償品)を張付けてください。
- ※アルミ箔付防水テープは、下方から上方の順番①～④で張付けし、重ね合わせ部、部材との取合い部などは浮き・すき間無く張付けてください。

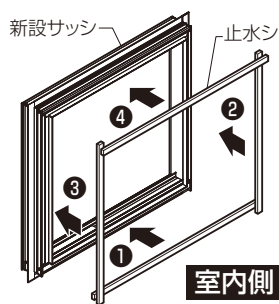


- ※既設サッシがアングル付きの場合は、既設サッシの形状に合わせ、事前にアルミ箔付防水テープを折り曲げて張付けてください(B部)。
- ※アングルのコーナー部など、アルミ箔付防水テープが重ならない箇所は、シーリング処理をしてください。

③新設サッシの取付け

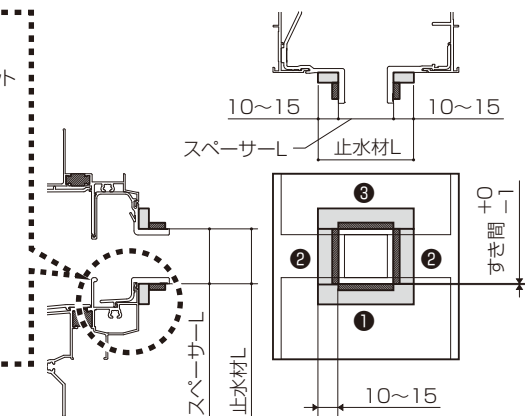
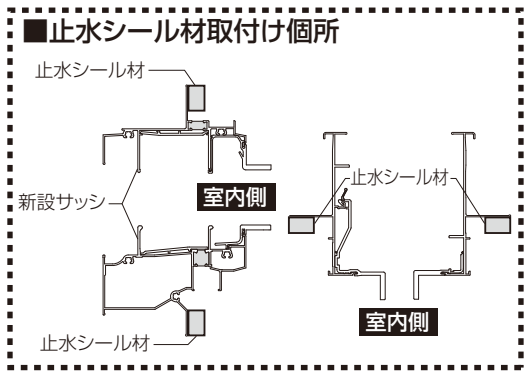
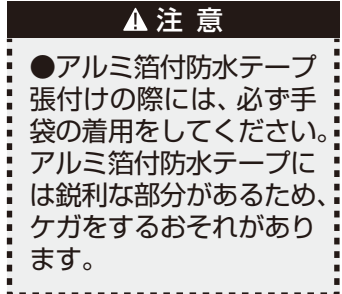
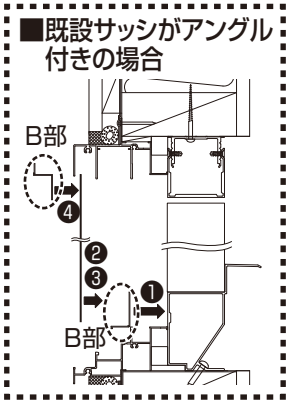
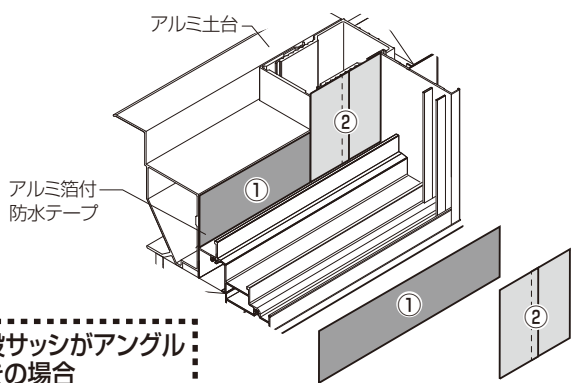
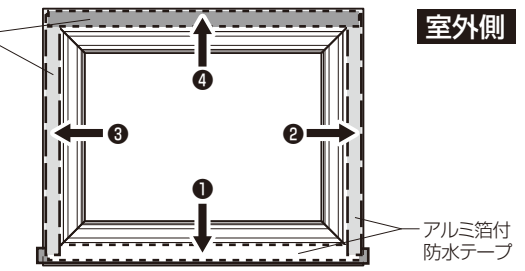
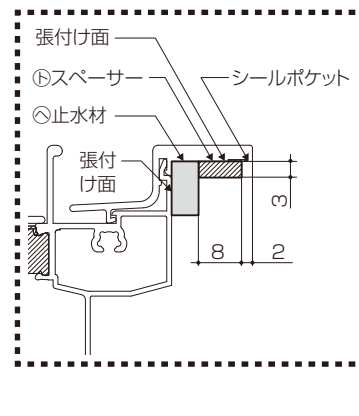
①止水シール材の張付け

- 組立てした新設サッシの釘打ちフィン裏面に止水シール材(有償品)を張付けてください。
- ※止水シール材は、下方から上方の順番①～④で張付けし、重ね合わせ部、部材との取合い部などは浮き・すき間無く張付けてください。
- ※リケイ紙は、汚れ付着を防止するため、サッシを取付けるまではがさないでください。(重ね合わせ部はリケイ紙をはがして圧着してください)



②止水材とスペーサーの張付け

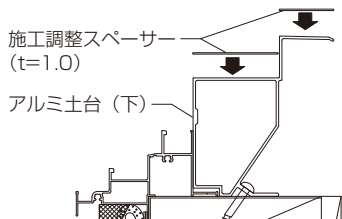
- 組立てした新設サッシの室内側アングル部に、右図を参照して㊶止水材、㊵スペーサーの順に張付けてください。
- ※止水材は、①下②縦③上の順に張付けし、繋ぎ部は、すき間が出来ない様に突き付けて張付けてください。
- ※止水材の長さが足りない場合は、繋ぎ合わせてください。(繋ぎは1カ所/1辺としてください)
- ※スペーサーは、止水材に押し当て2mmを狙って張付けてください。
- ※スペーサーL寸法は、土台B,C型の場合、シンフォニー・デュオPGに合わせてあります。サーモスの時は切断して張付けてください。
- ※浴室側の開口を縮小する場合は、開口にする側のみ切断して張付けてください。



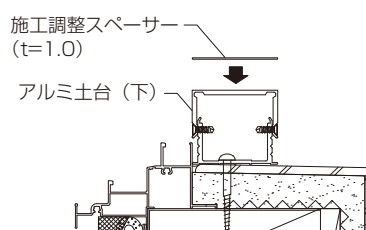
③施工調整スペーサーの張付け

アルミ土台(下)に、施工調整スペーサー(t=1.0)(有償品)を両面テープなどで張付けてください。
 (※新設サッシが、サーモスⅡ-H・シンフォニーW/M引違い窓、サーモスX・サーモスLの場合のみ)

■土台 A 型、B 型、C 型の場合



■土台 D 型の場合



④新設サッシの取付け

①止水シール材のリケイ紙をはがし、新設サッシを開口部にはめ込んでください。

※新設サッシが既設サッシに干渉する場合は、ケンドン式ではめ込んでください。(図1)

※左右のチリ寸法を合わせ、水平、垂直を確認してください。

※かい木、または、施工調整スペーサー(有償品)を用いて調整してください。

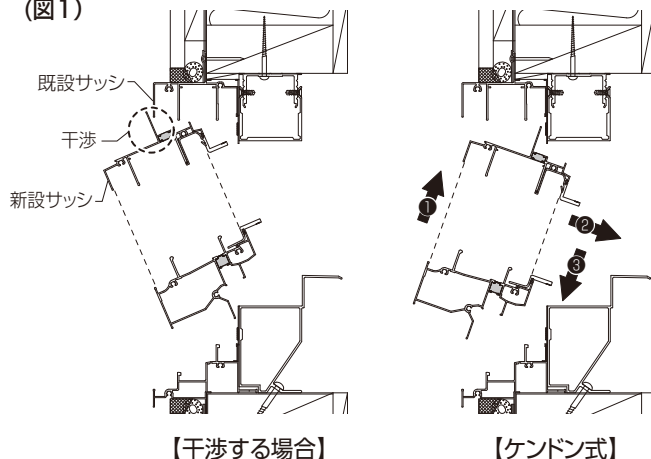
②室外側からφ2.5の下穴をあけ、専用新設サッシ同梱または有償品の①サッシ取付けねじでサッシを取付けてください。

※①サッシ取付けねじ取付けの際、アルミ土台の組立てねじと干渉する場合は、取付け位置をずらしてください。

③室内側は専用新設サッシに同梱の部品セット内のドリルねじで新設サッシを取付けてください。(引違いサッシの場合のみ)

※専用新設サッシ以外は、有償品のねじで取付けてください。

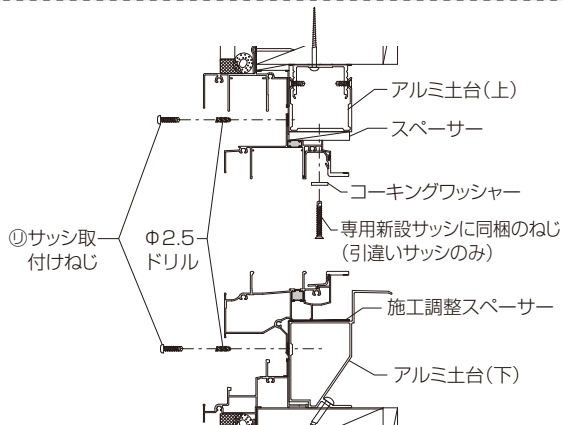
(図1)



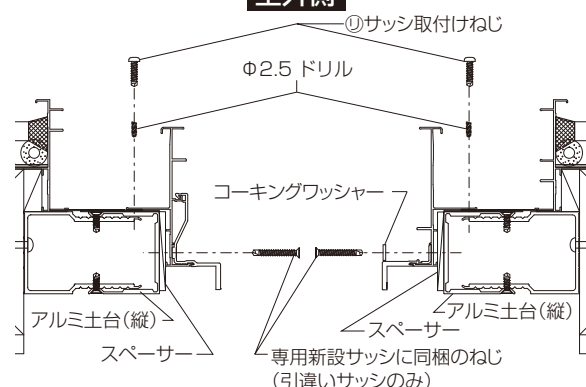
▲注意

●引違いサッシの躯体取付けねじには、浴室用防水部品セットに同梱のコーキングワッシャーを使用してください。漏水の原因になるおそれがあります。

室外側

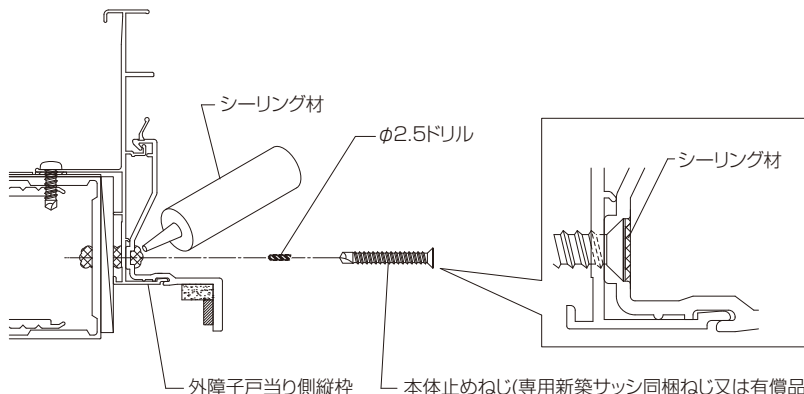


室外側



▲注意

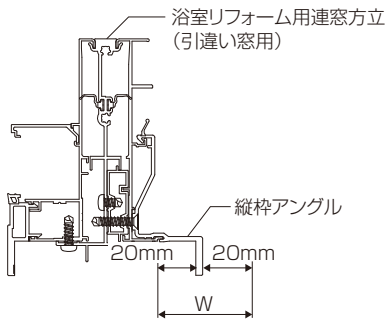
●サーモスⅡ-H/L 引違いサッシの場合
 外障子戸当り側縦枠の躯体取付けねじには、浴室用防水部品セットに同梱されているコーキングワッシャーは使用しないでください。
 必ず下穴をあけ、ねじ止めた際に、シーリング材がはみ出るくらい充てんし、ねじ締め付け後、はみ出したシーリング材を拭き取ってください。漏水の原因になるおそれがあります。



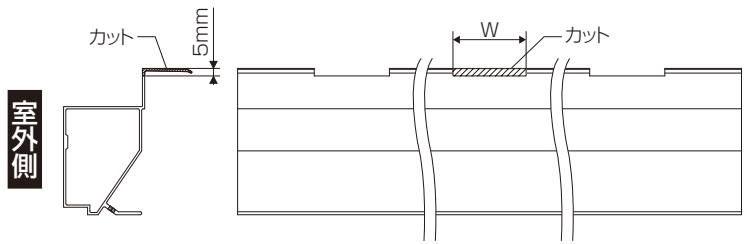
※新設サッシを連窓して浴室側の開口を縮小する場合は、浴室窓額縁とアルミ土台(下)が干渉するため、現場加工してください。
 (図2)(土台A・B・C型の場合)

(図2)

室外側



【W寸法の計測】



【アルミ土台(下)の加工】

⑤発泡ポリエチレンの張付け

●アルミ土台の露出がないように、室内側から㊦発泡ポリエチレンを張付けてください。

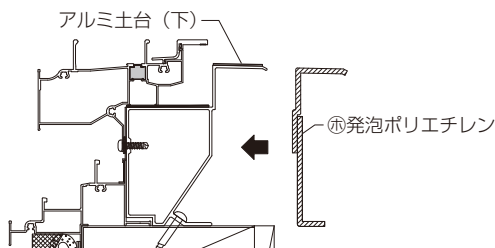
※発泡ポリエチレンは、1本あたり最長 1250mm の長さで同梱しています。長さが足りない場合はつぎ足して張付けてください。

※発泡ポリエチレンの幅は 86mm です。幅が足りない場合は重ねてつぎ足して張付けてください。

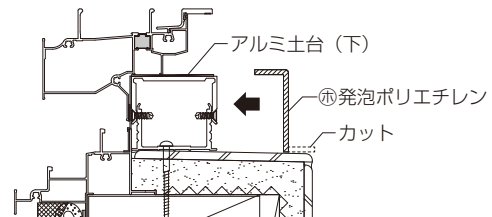
※窓単独交換の場合は、アングルカバー取付けのじゃまにならないように、余った部分は切断してください。

①アルミ土台(下)への張付け

■土台 A・B・C 型の場合

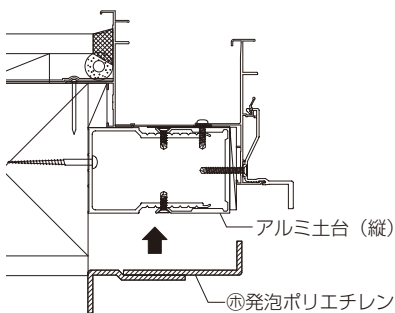


■土台 D 型の場合

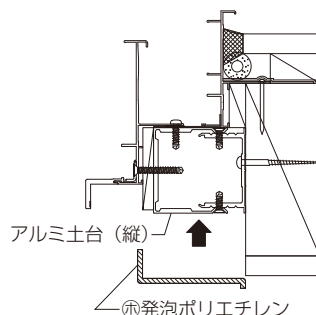


②アルミ土台(縦)への張付け

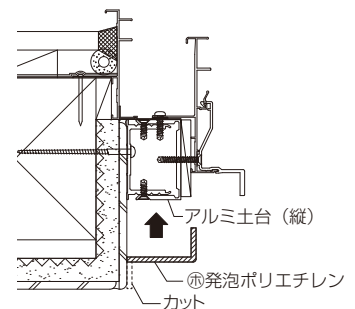
■土台 A・B 型の場合



■土台 B・C 型の場合

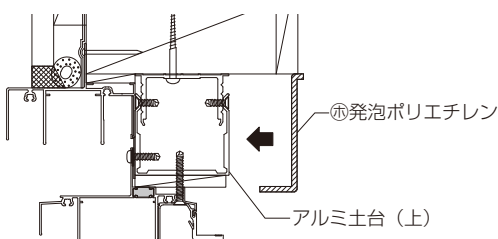


■土台 D 型の場合

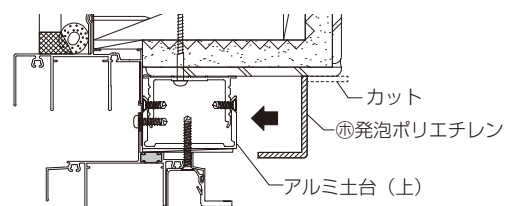


③アルミ土台(上)への張付け

■土台 A・B・C 型の場合



■土台 D 型の場合

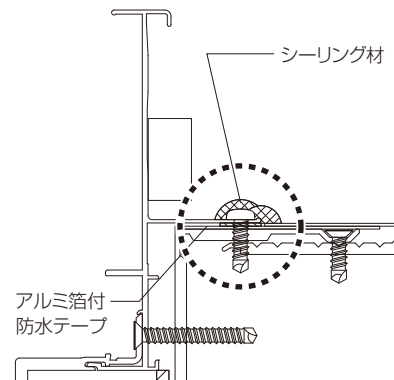
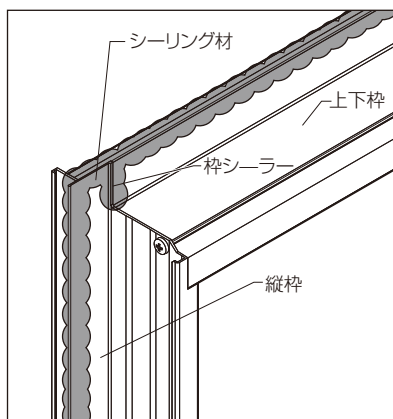


⑥新設サッシ周りのシーリング処理

●室外側より新設サッシ釘打ちフィン周りと防水テープのつなぎ目をシーリングしてください。サッシ取付けのねじ頭がシーリング材から出ないように、確実にシーリング処理してください。

▲ 注意

●シーリング処理は、サッシ取付けねじ頭がかくれるまで行ってください。上下枠と縦枠の取り合い部は、枠シーラーの根元まで行ってください。躯体内漏水のおそれがあります。



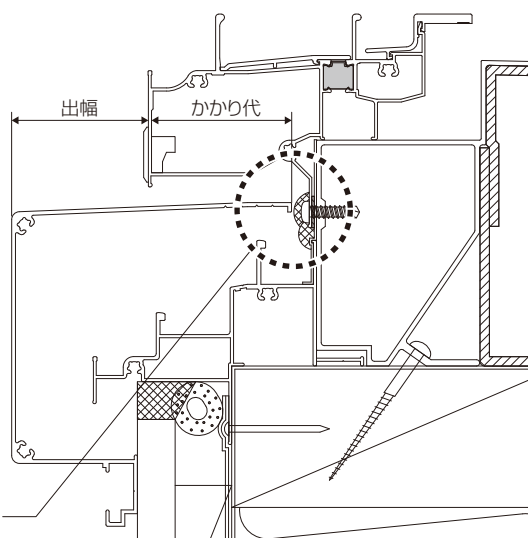
④カバーモールの取付け

①カバーモールの組立て

①カバーモールを取付け位置にあてがい、カバーモール先端が当たらないことを確認してください。先端が当たる場合は、カバーモールを切断して長さ調整してください。(切断しやすいように溝がついています)

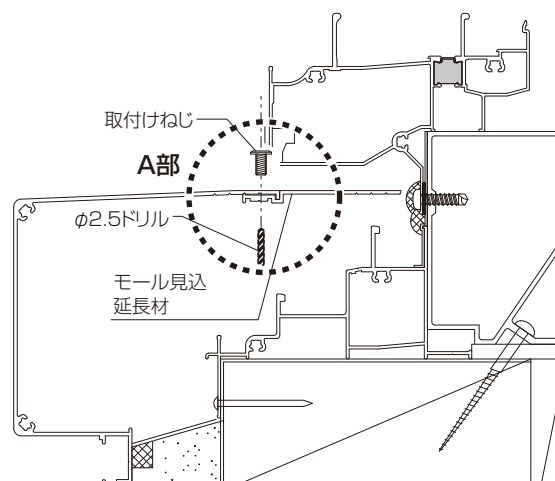
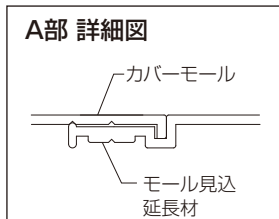
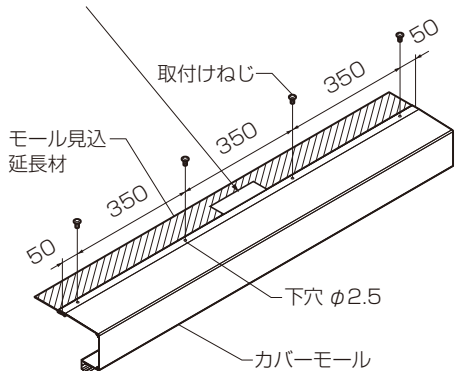
※新設サッシからのカバーモールの出幅が75mm以上の場合は、モール見込延長材(有償品)を使用して、新設サッシへのかかり代を伸ばしてください。

※図は、横モールを示します。



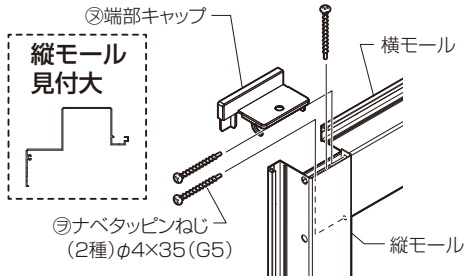
②モール見込延長材を使用する場合は、図のようにかん合(A部)し、下側から両端50mmでφ2.5の下穴をあけ、同梱されているねじで両端部を連結します。次に中間部に350mm以下でφ2.5の下穴をあけ、同梱されているねじで連結してください。

※「のらないでください」ラベルが張られているモール見込延長材が下モール用になります。

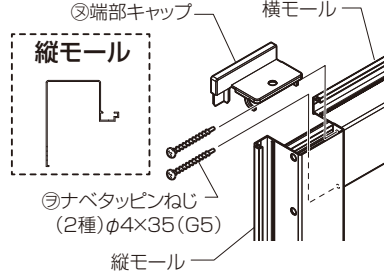


③縦モール端部に⑧端部キャップ、⑩端部キャップ(入隅用)を取付けてください。端部キャップと縦モールのガイド穴、横モールのタッピングホルルの位置を合わせ、⑨モール組立てねじで組立ててください。

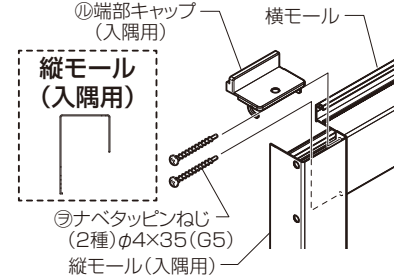
●カバーモール浴室用A・B・C型の場合



●カバーモール浴室用B・D・E型の場合



●カバーモール浴室用C・E型の場合

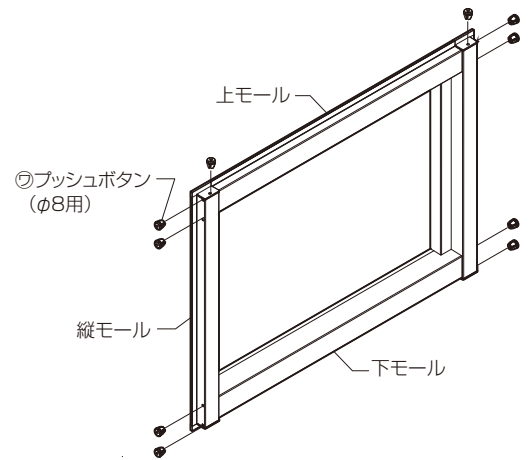


④縦モールの側面の丸穴(8箇所)および、上側の端部キャップ上面の丸穴(2箇所)に⑦プッシュボタンを取付けてください。

▲注意

●排水経路を確保するため、下部の端部キャップには、プッシュボタンを取付けないでください。取付けた場合、排水できなくなるおそれがあります。

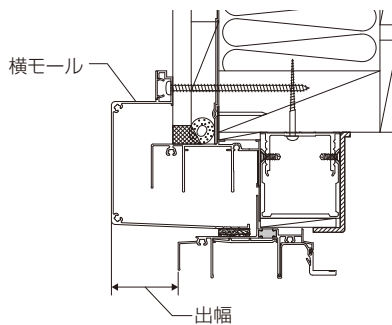
※モール見込延長材が取付けられている場合は、「のらないでください」ラベルが張られている側が下モールになります。



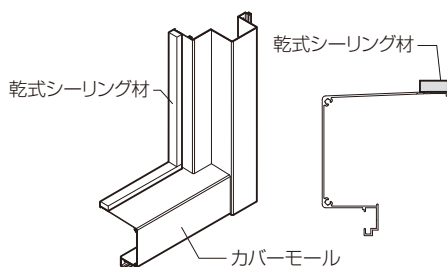
■乾式シーリング材(有償品)を使用する場合

新設サッシからのカバーモールの出幅が65mm以下の場合、カバーモールに乾式シーリング材を張付けてください。(下図参照)

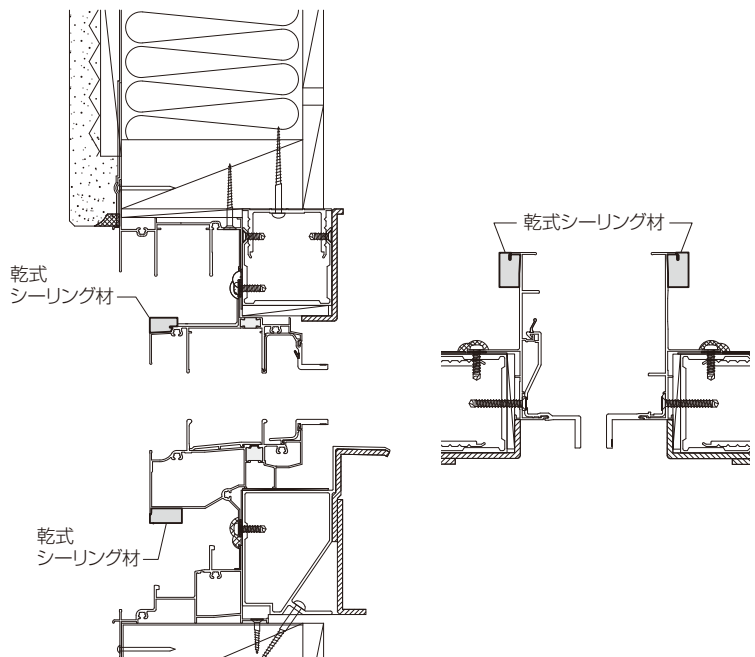
新設サッシからのカバーモールの出幅が65mm超の場合、新設サッシに乾式シーリング材を張付けてください。(下図参照)



■乾式シーリング材の張付け位置(65mm以下の場合)

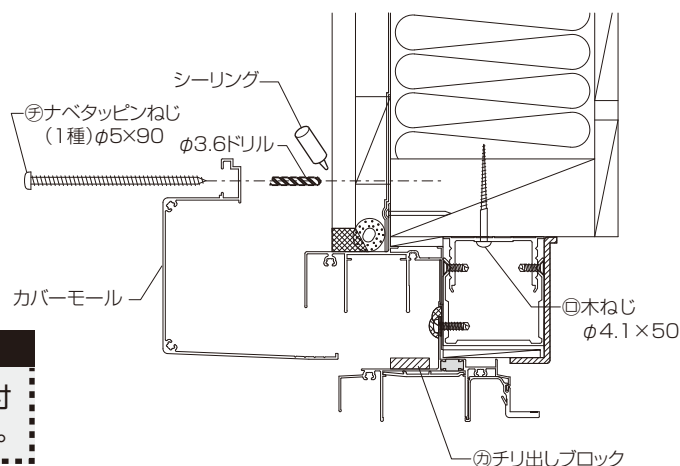


■乾式シーリング材の張付け位置(65mm超の場合)



②カバーモールの取付け

- ①新設サッシ上枠の両端と中央に㊦チリ出しブロックを設置してください。乾式シーリング材を使用する場合は、取付け不用です。
 - ②新設サッシとカバーモールの上下左右のチリ寸法を確認し、カバーモールの取付け穴位置に合わせて、壁面にφ 3.6の下穴をあけ、シーリング材を注入してください。㊦モール取付けねじで、カバーモールを取付けてください。
- ※下穴をあける際、㊧・㊨木ねじと干渉する場合は、取付け位置をずらして下穴をあけ直してください。

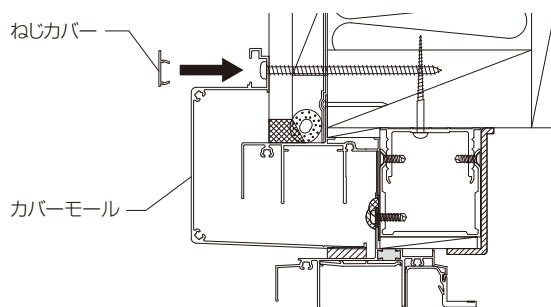


▲注意

- 必ず下穴へシーリング材を充てんしてから、ねじを取付けてください。漏水の原因になるおそれがあります。

③ねじカバーの取付け

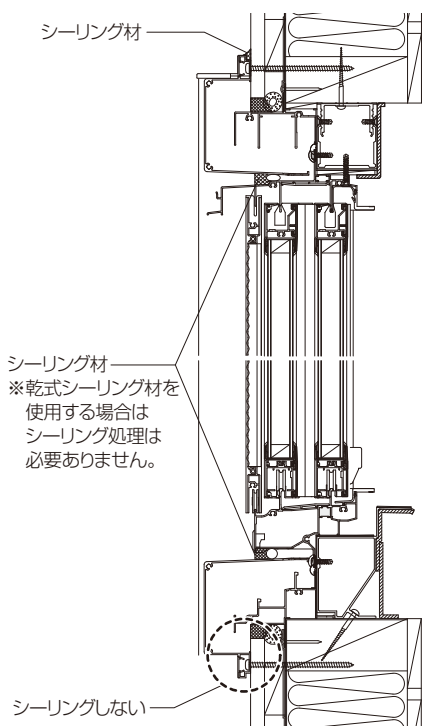
- カバーモールに、ねじカバーをはめ込んでください。



⑤シーリング処理

- 図の指定の箇所へシーリング処理をしてください。縦モールの下側および、下モールの下側はシーリング処理しないでください。モール内に入った水が溜まる場合があります。

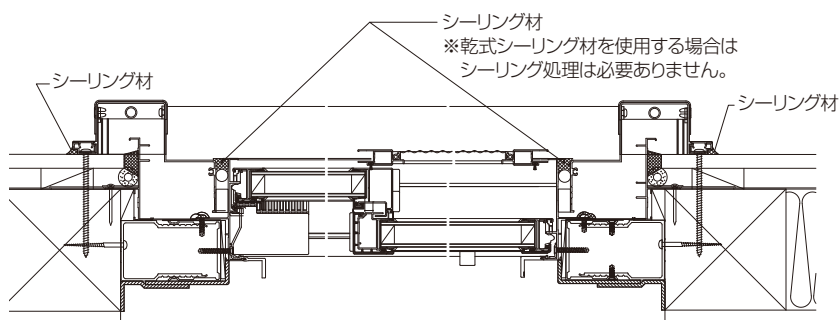
※縦モールと横モールとの取合い部にすき間がある場合は、シーリング処理してください。



※乾式シーリング材を使用する場合はシーリング処理は必要ありません。

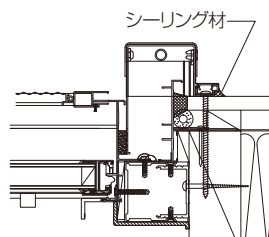
※モール下側はシーリング処理をしないでください。

●カバーモール浴室用 A 型の場合

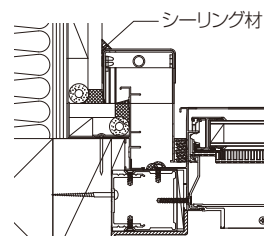


※乾式シーリング材を使用する場合はシーリング処理は必要ありません。

●カバーモール浴室用 B・D・E 型の場合



●カバーモール浴室用 C・E 型の場合



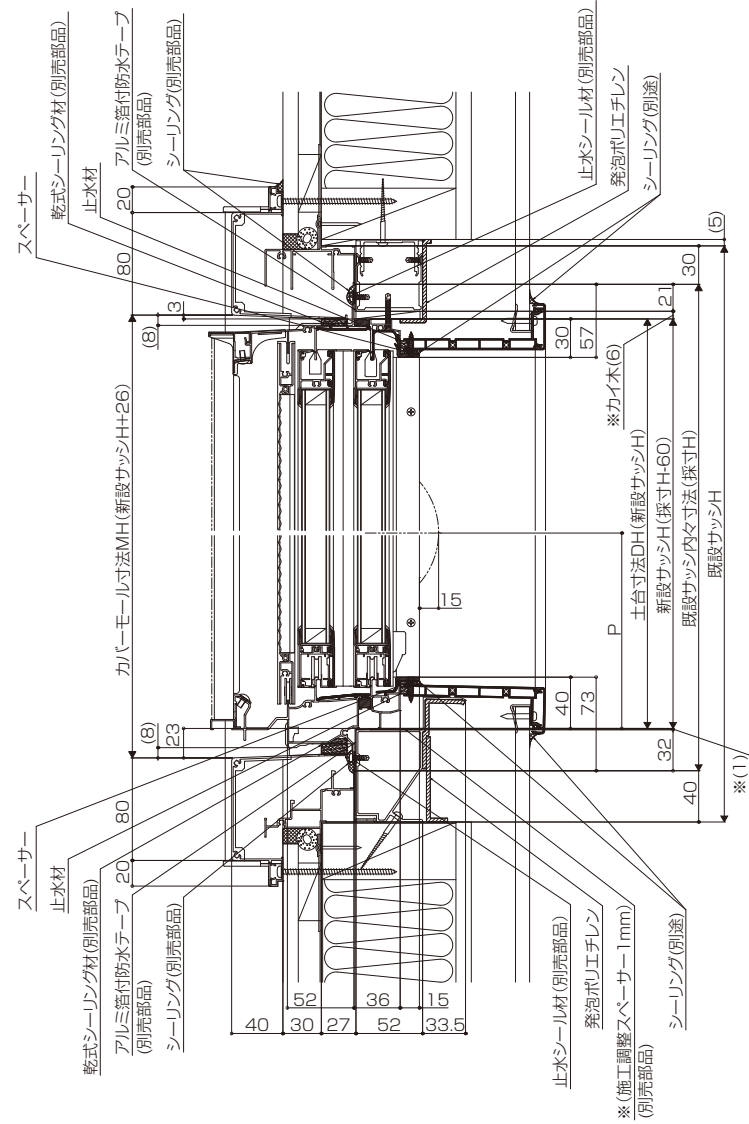
▲注意

- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・シーリング材を使用する場合には、1成分形変成シリコンタイプを使用してください。
- ・シーリング材指定のプライマーを使用してください。

■参考納まり図

※図は、カバーモールA型、アルミ土台A型を示します。

■縦断面図



■横断面図

